

安全に活動するために

01.

活動開始前に職員から注意事項を聞く

活動に先立って、施設職員が安全に係る注意事項をお話します。
また、参加者（子供）に直接安全に係る指導を行います。
必ず活動開始前に事務室にお声がけください。

02.

指定された活動場所で活動する

活動場所以外での活動は、落雪や折れ枝による負傷、行方不明、施設設備の破損といったリスクがあります。

また、当日の降雪や風の状況に応じて、事前に割り当てた活動場所と別の場所を指定することもあります。

03.

適切な服装と装備で活動する

1-2月は、最高気温が氷点下を下回ったり、風速が5mを越す日が多くあります。また、30cm以上の積雪となる日もあります。

皮膚に接する衣服が濡れたり、素肌が強風に晒されたりすると、傷病の原因になります。防寒を意識した準備を行ってください。

04.

活動場所の原状復帰を行う

創作物（かまくらや雪像）を放置すると、他団体の子供が生き埋めや下敷きになってしまうリスクがあります。また、大きな事故とならずとも、他団体の活動の妨げとなる場合もあります。

活動後は、創作物はすべて壊し、原状復帰をお願いします。

05.

こまめに点呼を行う

死亡事故などの重大事案が発生する大きな原因のひとつとして、指導者が子供を見失うことがあげられます。

降雪時・強風時は見通しが悪く、参加者の動きを把握しづらい場合があります。こまめに点呼を行い、人員管理を徹底するようにしてください。

冬季の
野外活動
について